



## とよたSDGsパートナーが主体となった食品ロス啓発イベントの開催

取組開始時期	令和3年7月	取組の カテゴリー	① 地域活性化	応募部門 (○を付ける)		PF会員間連携部門	○	一般部門
1. 団体名	豊田市	2. 連携先 の団体	スポーツボランティアとよた、◎フジ建設（株）、ひまわりネットワーク（株）、トヨタ自動車（株）、太啓建設（株）、名古屋菅公学生服（株）、（特非）とよたエコ人プロジェクト、トヨタ衛生保繕（株）					
3. 取組 目的	豊田市で開催される食品ロス削減全国大会と同時にイベントを実施し、大会当日に都心の盛り上がりを創出するとともに食品ロス問題を市民に周知するため。				4. 関連する ゴール			

## 5. 取組経緯

豊田市において食品ロス削減全国大会が開催されることから、豊田市が全国大会当日の都心の盛り上げ及び食品ロス削減の機運醸成のためのイベント企画を行うワーキングへの参加をとよたSDGsパートナーに呼びかけたところ、複数のパートナーの参加申込があり取組が開始。

## 6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

企業・NPOからなるワーキンググループにより、食品ロス問題を楽しみながら学ぶ「とよた食品ロス妖怪クイズラリー」イベント及び競技として清掃活動を行う「スポGOMI大会 in とよた」が主体的に企画・準備・実行された。



## 取組のポイント（3つの視点）

## 地方創生SDGsの視点

- ・家庭部門における食品ロスの削減と全国大会当日の都心の盛り上げという2目的に対し一体的にアプローチできる企画の立案・準備・実行が民間事業者を主体として行われた。
- ・イベントの景品として市や企業のノベルティなどを用意することで、行政・企業のPRの場としても活用された。

## ステークホルダーとの連携

- ・市の要請に応じたパートナー（企業およびNPO）がイベント企画ワーキング（2か月間、全5回）に参加
- ・ワーキングでまとめたイベント企画案に基づき、パートナーがイベントを準備、当日運営を担当し、市は使用する施設管理者との調整や使用備品の費用負担を行った。

## モデル性・波及性

- ・市の要請内容と、活動PRの場を求める事業者のニーズが合致し、市・民間事業者の分業により、行政課題の解決・SDGs達成に資する取組が実現された。

## 7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

## 【取組の内容】

## ○ワーキングへの参加要請

令和3年6月24日・25日市がオンライン説明を実施

## ○ワーキングの実施

イベント企画ワーキングに応募した連携先団体8者と市とがオンラインにてワーキングを実施。

- 第1回 令和3年7月8日 自己紹介
- 第2回 令和3年7月29日 アイデア出し
- 第3回 令和3年8月19日 企画決定
- 第4回 令和3年9月2日 企画具体化
- 第5回 令和3年9月30日 企画発表

## ○ワーキングにより立案された企画

「とよた食品ロス妖怪クイズラリー」

- ・まちなかに「豊田市食ロス妖怪」全9体を使用したパネルを設置し、食品ロスにまつわるクイズを出題する。
- ・クイズでは正解を類推することができるヒントを同時に掲示し、食品ロスを削減するために望ましい行動を参加者に学んでもらう。

「スポGOMI大会 in とよた」

- ・ごみ拾いに競技要素を組み込んだイベントをSDGsパートナーにより実施し、清掃を行うとともに全国大会に合わせて都心に賑わいを創出する。

## ○ステークホルダーの役割分担

市：使用する施設との折衝、備品使用等に係る実費の負担  
 参加パートナー：クイズラリー用パネル・台紙の作成、パネル設置位置の選定、必要備品の準備、協賛の呼びかけ、参加申し込みの受付、当日のイベント取り回し

## 【取組の成果】

## ○スポGOMI大会 in とよた

とよたSDGsパートナーから26チーム、約130名が参加  
 都心に賑わいを創出するとともに1時間の競技で合計100kg以上のごみを収集した。



## ○とよた食品ロス妖怪クイズラリー

約170名が参加  
 親子連れを中心に、高齢者から学生まで幅広い年齢層が参加し、食品ロス問題を広く啓発することができた。

